

## 令和4年度 事業報告書

令和4年度は、コロナ禍の生活様式にも人々が適応しつつある中で、生活支援センターとしても新しい形、チャレンジ精神を持ち運営していくことを意識しました。また、地域市民は、精神保健福祉制度が変化していることも知らない現状があり、普及啓発活動にもチャレンジ精神を持ち取り組みました。地域共生社会の実現、地域生活拠点事業、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築において、地域全体が我が事として精神障害に対する正しい理解が必要であることを改めて感じました。そこで、障害福祉分野以外の自治会、高齢関係、教育機関（小学校）との交流をより重視し、ご利用者の満足度向上に繋がることを目的として運営して参りました。それらのことも含めて、以下の通り令和4年度の事業報告をさせていただきます。

### 【施設概要】

名 称：社会福祉法人横浜市社会事業協会 横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター  
 所在地：〒230 - 0062 横浜市鶴見区豊岡町 28 - 4 ハーモニーとよおか4階  
 電 話：045-576-3173（一般相談回線）  
           045-576-3174（申込専用回線）  
           045-576-3170（自立生活アシスタント事業専用回線）  
           045-576-3171（横浜市退院サポート事業専用回線）  
  
 F A X：045-576-3172

### I. 令和4年度 運営実績報告

#### ① 登録者数及び来館者数

開所日数： 308 日

|      |                 |    |      |   |    |      |      |
|------|-----------------|----|------|---|----|------|------|
| 登録者数 | 令和4年度登録         | 男性 | 48   | 名 | 全体 | 92   | 名    |
|      |                 | 女性 | 44   | 名 |    |      |      |
|      | 全登録者数           | 男性 | 641  | 名 | 全体 | 1193 | 名    |
|      |                 | 女性 | 552  | 名 |    |      |      |
| 来館者数 | 本人              | 男性 | 4471 | 名 | 全体 | 6661 | 名    |
|      |                 | 女性 | 2190 | 名 |    |      |      |
|      | 家族              |    | 480  | 名 | 全体 | 823  | 名    |
|      | ボランティア・その他関係機関等 |    | 343  | 名 |    |      |      |
|      | 全体合計            |    |      |   |    |      | 7484 |

② 各種サービス利用状況

| 項目          |    | 延べ人数   | 全体延べ人数 |
|-------------|----|--------|--------|
| 夕食          | 男性 | 2565 人 | 3921 人 |
|             | 女性 | 1356 人 |        |
| 入浴          | 男性 | 632 人  | 712 人  |
|             | 女性 | 80 人   |        |
| 洗濯          | 男性 | 319 人  | 418 人  |
|             | 女性 | 99 人   |        |
| インター<br>ネット | 男性 | 13 人   | 20 人   |
|             | 女性 | 7 人    |        |

夕食サービスは、黙食を徹底しながら人数制限を15名→20名に増やし、ニーズに対応致しました。入浴、洗濯に関しては、単身世帯、ゴミ屋敷問題を抱えている登録者の利用率が高くなっています。

II. 地域活動支援センター事業 支援状況報告

【援助方法】

|               |    |      |   |    |      |   |
|---------------|----|------|---|----|------|---|
| 電話            | 男性 | 2407 | 件 | 全体 | 5027 | 件 |
|               | 女性 | 2620 | 件 |    |      |   |
| 面接            | 男性 | 225  | 件 | 全体 | 468  | 件 |
|               | 女性 | 243  | 件 |    |      |   |
| フリースペース<br>対応 | 男性 | 477  | 件 | 全体 | 732  | 件 |
|               | 女性 | 255  | 件 |    |      |   |
| 訪問            | 男性 | 57   | 件 | 全体 | 113  | 件 |
|               | 女性 | 56   | 件 |    |      |   |
| 同行            | 男性 | 33   | 件 | 全体 | 88   | 件 |
|               | 女性 | 55   | 件 |    |      |   |
| その他           | 男性 | 43   | 件 | 全体 | 75   | 件 |
|               | 女性 | 32   | 件 |    |      |   |

【相談支援内訳】

|             |    |      |   |    |      |   |
|-------------|----|------|---|----|------|---|
| 生活(衣食<br>住) | 男性 | 1280 | 件 | 全体 | 2806 | 件 |
|             | 女性 | 1526 | 件 |    |      |   |
| 精神的不安・混乱    | 男性 | 480  | 件 | 全体 | 1130 | 件 |
|             | 女性 | 650  | 件 |    |      |   |

|                    |    |      |   |    |      |    |   |
|--------------------|----|------|---|----|------|----|---|
| 家族関係               | 男性 | 201  | 件 | 全体 | 640  | 件  |   |
|                    | 女性 | 439  | 件 |    |      |    |   |
| 対人関係               | 男性 | 266  | 件 | 全体 | 597  | 件  |   |
|                    | 女性 | 331  | 件 |    |      |    |   |
| 金銭管理・<br>経済        | 男性 | 282  | 件 | 全体 | 474  | 件  |   |
|                    | 女性 | 192  | 件 |    |      |    |   |
| 就労                 | 男性 | 355  | 件 | 全体 | 646  | 件  |   |
|                    | 女性 | 291  | 件 |    |      |    |   |
| 制度・サー<br>ビス        | 男性 | 383  | 件 | 全体 | 1050 | 件  |   |
|                    | 女性 | 667  | 件 |    |      |    |   |
| センター利<br>用案内       | 男性 | 113  | 件 | 全体 | 223  | 件  |   |
|                    | 女性 | 110  | 件 |    |      |    |   |
| 日中活動<br>(余暇含<br>む) | 男性 | 277  | 件 | 全体 | 509  | 件  |   |
|                    | 女性 | 232  | 件 |    |      |    |   |
| 医療・健康              | 男性 | 485  | 件 | 全体 | 1263 | 件  |   |
|                    | 女性 | 778  | 件 |    |      |    |   |
| 入院・退院<br>支援        | 男性 | 30   | 件 | 全体 | 63   | 件  |   |
|                    | 女性 | 33   | 件 |    |      |    |   |
| その他                | 男性 | 1129 | 件 | 全体 | 2232 | 件  |   |
|                    | 女性 | 1103 | 件 |    |      |    |   |
| 複数対応               |    |      |   |    |      | 50 | 回 |
| ケア会議               |    |      |   |    |      | 16 | 回 |
| 緊急対応               |    |      |   |    |      | 24 | 回 |

### ① 相談支援・生活支援

感染対策を実施しながら、フリースペース、各種有料サービスの提供を行いました。電話相談においては、統一したルールを設けていないため病状不安定な電話頻回者の方だと60分程度かかることがほぼ毎日のようでありました。また、怠薬により病状悪化している方も毎日来館され対応に鶴見警察や近隣の民間事業者等と約1年間、対応に苦慮しましたが粘り強く関係性を構築し続けたことで、再度医療に繋がることができ病状が改善されました。センターは、こうした様々な状況の方が来館されますが、アセスメントをしっかり行いニーズをキャッチすることで、その人らしく生活できるようサポートできることを改めて実感した1年でもありました。

また、今年度はご家族の利用も多く8050問題を抱えた方が、ご本人と夕食目的で週5日来館され、その中で生活実態やお困りごとを確認することができました。結果として、地域の

中で孤立することなく、センターとの関係性構築に繋がりました。多種多様な状況の方々のニーズをキャッチする力をさらに強化し、この街で安心して暮らせるよう必要な支援を今後も展開していきます。

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| <b>家族による家族のための相談会</b> | <b>3名</b> |
|-----------------------|-----------|

② 訪問・同行支援

これまでに基本相談で訪問・同行が必要だった方々について、福祉サービスの利用に伴い計画相談支援に移行致しました。そのため、訪問・同行の年間数値が減少していますが、その分計画相談支援事業としての集計では、訪問・同行合わせて500件は超えています。

③ 家族支援

鶴見区家族会（のぞみの会）の定例会に毎月参加しています。また、年4回ある懇親会にも出席致しました。その中で、センターをご存じない会員の方からの質疑応答を受け付けながら関係性を深めてまいりました。

懇親会で出会った80代の女性のご息が、治療中断から長年引きこもり状態となっており家の中を破壊する行動障害をお持ちの方がいました。区MSWと連携し、訪問しながら家族の気持ちを受け止める形を継続しています。

また、高齢化している家族への支援として家族会と共に孤立しているご家族が一息つけるようなイベントを共催することを検討致しました。今後、不定期でセンター内で家族同士が気軽に交流できる家族ピアミーティングを開催していきます。

④ プログラム・交流機会の提供

|                      |            |                   |
|----------------------|------------|-------------------|
| <b>生活支援センタープログラム</b> | <b>43回</b> | <b>参加者総数 597名</b> |
|----------------------|------------|-------------------|

自主事業及び地域交流事業においても新たな形にチャレンジ致しました。自主事業では、ICT技術を駆使した巨大画面ゲーム大会や屋外ヨガ等、感染予防しながらも新しい体験の機会を提供しました。地域交流事業では、鶴見区老人クラブの方々を定期的に講師に招き、新しいネットワークを構築しました。その結果、老人クラブ主催の文化祭にご利用者が作品を展示することができ、ご利用者の自己肯定感を高めることに繋がりました。

また、福祉分野への普及啓発活動の新しい試みとして、小学校との交流事業を計7回実施致しました。センター登録者、小学生合わせて169名が交流を行い小学生が正しい精神障害の理解を深める機会となりました。その様子はタウンニュースにも取り上げられ、普及啓発となりました。夏祭りにも交流を通してセンターを知り得た小学生が、友達を連れて来所し、参加人数は168名となり、大盛況に終わりました。今後も、地域共生社会に向けてインクルーシブ教育の良い機会となるよう継続していきたいと考えています。

## ⑥ 人材育成について

研修の形態も多様化し、オンラインで受けられる研修も増えました。そのため、市内の研修のみならず全国レベルの研修に積極的に参加致しました。また、各種専門職団体の研修にも参加し、ネットワークの構築に努めました。結果、2名の職員が専門職団体の活動に参加するなど、専門職としての資質向上の機会を得ることに繋がりました。

法人内においても、キャリアごとに研修を定期的に行いました。当法人は、重度心身障害者、高齢者福祉施設も運営しているため、法人内研修で他分野の同僚と意見交換できる場があることは視野を拡げられる機会となりました。

実習生については、精神保健福祉士、社会福祉士、公認心理士、看護師を目指す学生を受け入れました。実習指導者講習会を修了した職員3名に実習指導を任せただことで、学生に教える中で自分たちの知識・技術を振り返ることができました。今後も積極的に受け入れ、学生と互いに成長し合えるような互惠関係を構築していきたいと考えています。

また、12年目を迎える鶴見区有志の会「うみやま会」でも事例検討会を定期的で開催しながらネットワーク強化及び専門家として資質向上に取り組んでいます。今年度は、2か月に一回開催しています。

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| <b>実習生受け入れ人数 : 18名</b> | <b>受け入れ期間 : 120日間</b> |
|------------------------|-----------------------|

## ⑦ 嘱託医相談

|           |            |
|-----------|------------|
| <b>本人</b> | <b>9人</b>  |
| <b>全体</b> | <b>12人</b> |

予約は、上記数字よりも多く入るのですが、当日来られなくなり、キャンセルとなるケースが多かったです。嘱託医相談は、医師とゆっくり話をできる貴重な機会なのでご家族や関係機関も相談のために来所しました。まだまだ、空き状況がありますので周知方法を工夫しつつ、より多くの市民の方々に活用して頂けるよう運営して参ります。

## ⑧ 関係機関とのネットワーク

### ① 3機関定例カンファレンス

定期的なカンファレンスの中で、3機関が協働して対応すべきケースについて話し合いをしています。互いの状況を理解し合い、必要に応じて連携を行っています。鶴見区の強みとしては、センター登録者でセンターと関係破綻した方を基幹相談支援センターでフォローしてくれている部分だと思います。その逆もありますが、互いにご利用者主体で支援展開できているのだと思います。開所してから両輪の関係が継続しているのも、こうしたケースを通じた信頼関係が培われているからこそであり、未治療ケースや8050問題ケース等、一緒に動く必要がある場面は、今後も継続して定例カンファレンスを通して埋もれたままになっている方々にアウトリーチできればと考えています。

## ② 鶴見区自立支援協議会

事務局として事務局会議（2か月に1回）、代表者会議に参加しました。また、担当者会議や各部会（相談支援部会、精神部会、権利擁護部会、GH連絡会）に職員を派遣して参りました。地域生活拠点事業や精神障害者にも対応した包括ケアシステムの構築に向けた検討については、精神部会で検討を重ねています。また、区づくり事業としてケアプラザと連携を行い障害理解講座の定期開催等を実施致しました。

## ③ その他

小学校交流事業を実施致しました。当センターの目の前にある豊岡小学校5年3組をモデル的に交流を重ねました。まずは、小学生が校外学習の一環として来館し、見学及び精神障害に関する説明会を行いました。その後は、授業に当センター登録者が招かれたり交互に行き来しながら交流を1年間深めました。その様子は、タウンニュースにも取り上げられ実りある普及啓発活動になりました。今後は、区内の教育機関にも声掛けを行いたい限り幅広く教育機関と連携しながら精神障害の正しい理解が促進されるよう引き続き普及啓発をしてまいります。

※タウンニュース写真



## Ⅲ. 自立生活援助事業・自立生活アシスタント事業

### ① 自立生活援助事業

今年度の自立生活援助は、1ケースのみとなります。制度設計上の訪問回数の縛りがあることなどから、導入困難なケースが多く比較的自由に利用できる自立生活アシスタント事業を希望される方が多数いらっしゃるのが実情です。

### ② 自立生活アシスタント事業

昨年度増加した件数を維持しつつ、新たにケースを開拓していくため新規相談に積極的に対応しました。昨年度と比較し、今年度は相談中の状態で対応を試みたケースが多く、現時点では登録に至らずとも今後のつながりが継続していけるよう意識してまいりました。今後の支援と関係機関との信頼関係に繋がればと思っております。

また、今年度の課題においては、目標達成の終結がなくやむを得ない事情で終結せざるを得なかったケースのみであり、現時点で対応しているケースに関しては、ご利用者の望む生活実現の達成に貢献していきたいと思っております。

今年度は、生活支援課の生活困窮担当者と連携しケース共有を通して、新規ケースと出会うことができました。いずれは、アウトリーチ支援事業が必要となる可能性があるケースも多数存在することがわかりました。今後も、生活困窮、知的・精神の自立生活アシスタントと連携して効果を高めていきたいと考えています。

|       |            |            |            |               |               |               |        |            |
|-------|------------|------------|------------|---------------|---------------|---------------|--------|------------|
| 登録者概要 | 登録者数       | 令和4年3月末時点  | 28         | 障害程度<br>別人数   | 精神1級          | 精神2級          | 精神3級   | 精神手帳<br>なし |
|       |            | 令和4年度新規登録  | 5          | A1            | 0             | 0             | 0      | 0          |
|       |            | 令和4年度登録抹消  | 3          | A2            | 0             | 0             | 0      | 0          |
|       |            | 令和5年4月1日現在 | 25         | B1            | 0             | 1             | 0      | 0          |
|       |            | 未登録相談人数    | 3          | B2            | 1             | 1             | 0      | 1          |
|       |            | 他アシ事業所協力人数 | 0          | 愛の手帳なし        | 7             | 12            | 4      | 3          |
|       | 生活<br>状況   | ①単身        | ②障害者<br>のみ | ③同居家族<br>の高齢化 | ④その他<br>家族と同居 | ⑤単身生活<br>移行希望 | ⑥その他   | その他の内容     |
|       |            | 21         | 1          | 4             | 1             | 1             | 1      |            |
|       | 日中活<br>動場所 | ①就労        | ②通所        | ③デイケア         | ④在宅           | ⑤その他          | その他の内容 |            |
|       |            | 2          | 7          | 3             | 15            | 1             |        |            |

### ③鶴見区アウトリーチ支援事業について

自立生活アシスタント事業の一環として、生活困窮制度に基づくアウトリーチ支援事業の定例会議には毎月出席をしました。

区内の自立生活アシスタント事業所、区役所生活支援課とも連携し事例検討を継続的に実施。その中で、アルコール依存症と軽度知的障害疑いの女性とその子供（引きこもり）に対して、協働で訪問支援を実施。結果、関係性が築かれ徐々に世帯の正確な状況が分かるようになってきた

## V. 横浜市退院サポート事業及び地域相談支援事業

今年度は、ここ数年と同様に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で病院内にて感染者が発生し、面会、外泊・外出の禁止の期間のあり、支援活動が進まない状況もありました。令和3年度に鶴見西井病院への働きかけとしてグループホームにお住まいの方からのビデオメッセージを作成していました。今年度に入り、病院ワーカーとも連携し、病院内でビデオメッセージの上映会を実施することができました。反応は様々でしたが、協働活動の形がICT技術を用いることで様々な工夫の余地があると感じることができました。今後は、コロナ感染症の制限も緩和されていくと考えられるため、他区のセンターとも協力しながら協働活動について考え取組んでまいります。今後の課題としては、コロナが落ち着き支援展開できたケースもございますが、外出後にPCR検査を受けて1日隔離する等から外出頻度が低くなり、オンライン面会が続く病院もあります。ご本人が地域生活に意識を向けられるよう、病院と相談しながら外出同行支援の幅も広げていきたいと考えています。また、退院に向けて相談員以外の病院内職員と協働することも重要になります。よって、入院患者様に対しての協働活動だけではなく、院内職員にも地域で暮らすことに対して理解を深め

て頂く必要があると考えます。退院先だけではなく、「どのような生活をおくるか」といった面も視野に入れて退院支援を進めていくことを説明するなど、院内の職員に向けた「協働活動」の必要性を感じるため、積極的に取り組んでまいります。

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 支援対象者数      | 16名                    |
| 退院サポート事業利用者 | 11名                    |
| 地域移行支援事業利用者 | 5名（退院サポート事業利用者3名含む）    |
| 退院者数        | 2名（内 地域移行支援事業0名）       |
| 支援継続        | 10名（内 地域移行支援事業利用者1名含む） |
| 退院後フォロー     | 1名                     |
| 支援終了        | 2名                     |
| 支援中止        | 1名                     |

### ① 地域移行・地域定着支援

今年度は、利用者は5名でした。支援終了2名の方は、ご自宅とグループホームに退院された方です。うち1名は、3年以上入院されていた長期入院者になります。もう一名の方は、6か月と比較的短期ですが、家族全体に対して支援が必要なケースであり、ご自宅への退院後もセンターとして継続支援を展開しています。

地域定着支援事業の利用については、グループホームとご自宅への退院であったため、利用に至ることはありませんでした。

|        |    |
|--------|----|
| 支援対象者数 | 5名 |
| 支援継続   | 3名 |
| 支援終了   | 2名 |

## VI. 計画相談支援事業

|                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| <b>契約者総数 : 104名</b> | <b>年間請求件数 : 371件</b> |
|---------------------|----------------------|

専従職員を配置してから区内事業所が対応困難ケースを鶴見区生活支援センターで受け入れるという方針で区内に周知しています。そのため、契約者のほとんどの方が日々、対応が必要なケースです。モニタリング月のみの関りではなく、適宜必要に応じて訪問・同行支援を行ってまいりました。常勤換算にすると実質3.5名で対応していますが、2.5名は兼務でありセンター業務とのバランスを考えるとオーバーワーク寸前の状態となっております。そのため、鶴見区とも協議し、3月の時点で新規受け入れをストップしている現状です。しかしながら、当センターが対応できる件数が上限に達している状況でも、区内の導入率50%（精神障害）という状況もあり、今後の大きな課題として感じています。自立支援協議会内で連携しながら、区内相談支援事業所の精神障害に対応して頂ける事業所を増やす試みや、互いに成長できる研修会等を実施し区内全体のレベルアップを図っていきます。



令和4年度 横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター収支決算書  
(総括版)

自令和4年4月1日 至令和5年3月31日

(単位:円)

| 科目                                 | 予算額        | 決算額        | 決算額のうち<br>法人負担金額 | 差 額          | 備 考         |
|------------------------------------|------------|------------|------------------|--------------|-------------|
| <b>I 収入の部</b>                      |            |            |                  |              |             |
| 1 指定管理料収入(当初)                      | 77,406,000 | 77,406,000 |                  | 0            |             |
| 2 指定管理料収入(変更)                      |            |            |                  | 0            |             |
| 3 法人負担金                            | 5,053,879  | 5,053,879  |                  | 0            | 計画相談専従職員人件費 |
| 4 相談支援事業に要した交通費収入                  |            |            |                  | 0            |             |
| 5 自立支援給付費収入                        |            | 8,571,926  |                  | ▲ 8,571,926  |             |
| 6 食事サービス収入                         |            | 1,705,381  |                  | ▲ 1,705,381  |             |
| 7 入浴・洗濯・インターネットサービス収入              |            | 119,160    |                  | ▲ 119,160    |             |
| 8 その他の実費収入など(横浜市障害福祉施設等物価高騰対策支援金等) |            | 483,000    |                  | ▲ 483,000    | 物価高騰対策支援金   |
| 収入合計                               | 82,459,879 | 93,339,346 |                  | ▲ 10,879,467 |             |

|                |            |            |            |             |  |                   |
|----------------|------------|------------|------------|-------------|--|-------------------|
| <b>II 支出の部</b> |            |            |            |             |  |                   |
| 戻入<br>精算       | 1 人件費      | 65,369,000 | 64,426,546 | 0           | 942,454                                      |                   |
|                | 所長         |            |            |             | ▲ 897,890                                    | 管理職手当に改定があったため。   |
|                | 常勤職員       |            |            |             | 88,288                                       | 常勤5名              |
|                | 非常勤職員      | 18,237,000 | 17,846,195 |             | 390,805                                      | 非常勤4名(内2名週4勤務)    |
|                | アルバイト      | 4,800,000  | 3,939,917  |             | 860,083                                      | 経理事務、受付事務、清掃庶務、学生 |
|                | 調理アルバイト    | 2,400,000  | 2,438,926  |             | ▲ 38,926                                     | 調理パート5名           |
|                | 嘱託医賃金      | 968,000    | 947,520    |             | 20,480                                       | 医師3名              |
|                | 法定福利費      | 8,096,000  | 7,603,740  |             | 492,260                                      | 法定福利、労災保険等        |
|                | 退職金給与引当金   | 1,745,000  | 1,821,700  |             | ▲ 76,700                                     |                   |
|                | 福利厚生費      | 132,000    | 115,000    |             | 17,000                                       | ハマふれんど            |
| 労務厚生費          | 192,000    | 104,946    |            | 87,054      | 職員検診   |                   |
| 2 施設管理費        | 5,142,000  | 4,473,430  | 0          | 668,570     |  |                   |
| 光熱水費           | 2,000,000  | 1,885,587  |            | 114,413     |  |                   |
| 庁舎管理費          | 3,022,000  | 2,467,843  |            | 554,157     | 非常通報装置(¥346500)                              |                   |
| 修繕積立金          | 200,000    | 200,000    |            | 0           | 年度末残高・執行計画別紙                                 |                   |
| 利用者負担金充当金      | ▲ 80,000   | ▲ 80,000   |            | 0           | (入浴・洗濯・インターネット収入から)                          |                   |
| 3 運営費          | 4,895,000  | 5,584,730  | 0          | ▲ 689,730   |  |                   |
| 旅費             | 700,000    | 612,068    |            | 87,932      |  |                   |
| 消耗品費           | 820,000    | 1,866,043  |            | ▲ 1,046,043 | LED照明交換、共有部及びセンターアルコール液、フリースペーステーブル、防災用品入れ替え |                   |
| 印刷製本費          | 165,000    | 126,224    |            | 38,776      |  |                   |
| 修繕費            | 800,000    | 428,120    |            | 371,880     | 執行状況報告                                       |                   |
| 通信運搬費          | 900,000    | 701,512    |            | 198,488     | 業務携帯、ポケットWi-Fi、固定回線5回線                       |                   |
| 賃借料            | 400,000    | 344,399    |            | 55,601      | 車両リース料                                       |                   |
| 備品等購入費         | 500,000    | 1,038,010  |            | ▲ 538,010   | 厨房器具(製氷機等)、給湯器等入れ替え                          |                   |
| 保険料            | 210,000    | 180,671    |            | 29,329      |  |                   |
| 雑費             | 400,000    | 287,683    |            | 112,317     | 相談支援、サビ管、実習指導研修等                             |                   |
| 4 本部繰入金        | 2,000,000  | 2,642,288  |            | ▲ 642,288   |  |                   |
| 5 食事サービス費の支出   |            | 1,633,196  |            | ▲ 1,633,196 |  |                   |
| 6 その他の実費からの支出  |            |            |            | 0           |  |                   |
| 支出合計           | 77,406,000 | 78,760,190 | 0          | ▲ 1,354,190 |  |                   |

|                 |  |         |  |  |  |
|-----------------|--|---------|--|--|--|
| <b>III 戻入の部</b> |  |         |  |  |  |
| 人件費戻入精算分        |  | 942,454 |  |  |  |
| 戻入合計            |  | 942,454 |  |  |  |